

八学大「全国初勝利を」 ラグビー部、市長に抱負



全国大学選手権に向け小林市長(右から3人目)に意気込みを語った八学大ラグビー部の選手ら

ラグビーの第57回全国大学選手権に北海道・東北地区代表として2年連続出場する八戸学院大ラグビー部の仲澤巽主将(4年、秋田・大館桂桜出)、工藤祐太郎監督らが12日、八戸市庁を訪れ、小林眞市長に「全国初勝利を目指す」と抱負を語った。

2戦全勝で1位。プールB1位の東北大に57-7で勝利し、3日に宮城県で行われた地区代表決定戦で北海道大を24-12で破り、3回目の選手権出場を決めた。市庁を訪れたのは、ほかに織笠颯副将(4年、三本木農出)、佐藤達哉副将(同、宮城・気仙沼向洋出)、山下祐史ヘッドコーチ。コロナ禍で練習時間が限られる中、仲澤主将は「少ない時間で

部員それぞれが自主的に練習に取り組んできた」と語り、織笠副将は「全国1勝という目標に向け、地区代表という名に恥じぬようプレーしたい」と意欲を見せた。小林市長は「頑張ってることを達成して」と激励した。八学大は21日、福岡県営春日公園球技場で行われる1回戦で、九州学生リーグ1部1位と対戦する。

(千葉真由美)